

# 会 議 録

## 1 会議名

令和2年度 第6回諏訪区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 協議事項（公開）

#### ① 自主的審議について

##### 1) 町内会長との情報交換会について（振り返り）

- ・会の運営・進行について
- ・諏訪区の課題について

##### 2) 今後の進め方について

## 3 開催日時

令和2年12月15日（火）午後7時から午後8時35分まで

## 4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：川上 俊一、川上 奈津子、川上 久雄（会長）、川室 光昭、西嶋 明子、  
服部 幸雄、星野 実、堀川 悦郎、山岸 愛、山岸 真也、山田 勝也、  
山田 哲平（副会長）（欠席なし）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、山崎主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【藤井係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

#### 【川上会長】

- ・会議録の確認：星野委員に依頼
- ・11月25日に開催された地域協議会会長会議について報告

次第 2 議題「(1) 協議事項」の「① 自主的審議について」に入る。本日は 11 月に開催した「町内会長との情報交換会」の開催結果について審議を行う。最初に「1) 町内会長との情報交換会について（振り返り）」に入る。最初に「会の運営・進行」について意見や感想を聞いていく。事務局より説明を求める。

#### 【藤井係長】

- ・説明

#### 【川上会長】

情報交換会を振り返って感想等を発表願う。川上 俊一委員から順に発言願う。

#### 【川上 俊一委員】

グループに分かれて小さな単位で実施したことについては、意見が出しやすかったと思っている。また、グループに分かれて話し合いを行ったが、だいたい同じような意見が多かったように感じている。

#### 【川上 奈津子委員】

グループに分かれて情報交換を行ったことについては、川上 俊一委員と同様に、自分もいろいろな話が聞けてよかったと思っている。ただ、時間が足りなかったように思う。そのため、夜の時間帯ではなく、もしかすると昼間に半日ほどの時間をかけて行うことができれば、もっといろいろな話を聞くことができたように思っている。

#### 【西嶋委員】

自分もグループに分かれて情報交換を行ったことについては、意見が出しやすかったと思った。自分はグループワークで司会を務めたのだが、なかなかうまく進行することができず、脱線ばかりしてしまった。そのため記録者は非常に苦労したと思うが、その後、しっかりと発表してくれたため非常に助かった。何かしら司会のマニュアルがあると、誰でも司会・進行がしやすいように感じた。

#### 【服部委員】

諏訪区地域協議会で協議している内容等とほとんど同じであったため、できることであれば町内会ごとの問題点を個々に話ができればよかったと思っている。次回以降はそういった面も検討してほしいと思っている。

**【星野委員】**

町内会にどのような問題があるのかということ、あらかじめ各町内会長に用紙等を配布して、事前に意見を取りまとめておけば、また違った意見も出たのではないかとと思っている。

**【堀川委員】**

全体を振り返ってみると、自分も時間が足りなかったように思っている。先ほど川上 奈津子委員が発言したように、夜ではなく、十分に時間を取ることができる昼間等に実施してもよかったかと思った。時間がない状況であったため、自己紹介を省いてもよかったように思う。例えば、町内会長は町内を代表する人であるため、町内会長の自己紹介を省き、委員のみが行ってもよかったのではないかとと思う。また、グループ分けについても、スムーズに机を配置することができず、バタバタした感もあった。そのため、初めからグループ分けをしてスタートしてもよかったように思う。時間がないということで、このようなことを感じた。

**【山岸 真也委員】**

限られた時間の中であったが、もう少し詰めた話もできたのではないかとと思っている。自分は発表係だったのだが、事前に司会役の委員と打ち合わせることができれば、効率のよい進め方もできたのではないかとと思っている。

**【山田 勝也委員】**

自分が考えていたことが、すでに大方出てしまった。自分は町内会長の立場として、事前に町内会長の会議に参加したのだが、ほとんどが雑談で終わってしまった。だがグループに分かれての意見交換の際には、町内会長だけで集まった時の内容とは全く違う、突っ込んだ話もできてよかったと思った。

**【川上会長】**

山田 勝也委員は、協議会委員と町内会長を兼任しているため、その辺は理解いただけたかと思う。初めての試みでもあったため、進め方がそれでよかったのかというと、今ほどの意見を聞くと、もっとゆっくりと話し合いがしたかったとの意見が多かった

ように思う。確かに限られた時間であったため、仕方ない部分もあるのだが、また機会があればもっと時間をかける・開催時間や日を考えるとといったことを検討して実施したいと思う。皆諏訪区内に住んでいるため、考え方はそれほど変わらず、似たような意見が出ていたように思う。そのため、それらの意見が課題なのだと思う。有意義な会議だったように思っている。

そのほか、総体的に今ほどの感想等を聞いて意見等はあるか。

(発言なし)

今後、他団体と会議等を開催する際の参考としたいと思う。

次に「諏訪区の課題」について意見や感想を聞いていく。事務局より説明を求める。

#### 【藤井係長】

- ・資料1について説明

#### 【川上会長】

いよいよ自主的審議のテーマを決めていきたいと思うのだが、項目が多いためどのようにまとめていくのか大変だと思う。

では、資料1の「手順2 調べる（聞く・見る）」の欄について、検討していく。最初に1ページ目の「(1) 高齢化の進展に関すること」「(2) 少子化の進展に関すること」で、追加や修正の意見を求める。また、情報交換会のグループワークで印象に残った発言があれば、あわせて発言願う。

(発言なし)

資料記載の項目すべてをテーマとすることは難しいと思う。そのため、この中のどれをテーマとすることになる。とりあえずは、個々の項目を確認し、意見を求めたいと思う。

前回の町内会長協議会との情報交換会の内容もまとめてある。記載の内容としてよいか。

(発言なし)

次に2ページに移る。「(3) 人口減少の進展に関すること」「(4) その他」で、追加や修正の意見を求める。また、グループワークで印象に残った発言についても発言願う。

(発言なし)

手順2を確認してほしい。これが前回、町内会長との情報交換会を行った際の課題

や意見になる。記載の内容としてよいか。

(よしの声)

急な話であるため、なかなかまとめることが難しいが、最後に 3 ページ目である。

「(1) 自然環境」「(2) 生活環境」「(3) その他」について意見を求める。

(発言なし)

記載の内容のとおり話し合ったということでよいか。

(よしの声)

何かあれば、後ほどでもよいので意見してほしい。では修正がないため、情報交換会の結果について資料のとおり確認し、これをもとに今後の審議を進めていきたいと思う。以上で次第 2 議題「(1) 協議事項」の「① 自主的審議について」の「1) 町内会長との情報交換会について（振り返り）」を終了する。

次に次第 2 議題「(1) 協議事項」の「① 自主的審議について」の「2) 今後の進め方について」事務局より説明を求める。

#### 【藤井係長】

- ・資料 1 について説明

#### 【川上会長】

テーマを決めていくのはなかなか大変かもしれない。では、「引き続き情報収集を行う」か、本日「テーマを決める」のかについて確認していく。まず、仮に情報収集を行うとした場合、どのような課題について情報収集をしたいのか意見を求める。「引き続き情報収集を行う」のか、または本日「テーマを決める」のか。本日テーマを決めることができればよいのだが、決まらない場合には、次の機会になることもある。

#### 【山田 哲平副会長】

本日、この場でテーマを決めることができれば 1 番よいと思うが、ただ何をやるにしても、やはり、情報収集が大事ではないかと思っている。いろいろなことを確認しながらいろいろな意見を聞いて、それに基づいて次に進むことも 1 つの手かと思っている。その中で、資料 1 にも記載されているように、例えば、市の担当課からの説明等であれば聞きやすいように思う。また、各種団体に話を聞くのであれば、その都度確認をしながら決めていくこともよいと思っている。今日・明日で決めるものではないと思っているため、しっかりと下地や土台を作ってから進むことも手かと思ってい

る。

#### 【川上会長】

急がずに、いろいろな情報を聞いて、審議事項を慎重に検討してはどうかとの意見である。他に意見等あるか。

#### 【山岸 愛委員】

自分も山田副会長の意見と同じである。どれかに決めるのはまだ早いと思いつつも、高齢化は皆が確実に直面していく問題だと思っている。一方で、少子化も高齢化と同様に問題となるが、学校・子ども・PTA といった関係者との関わり方のビジョンが自分の中では浮かんでいない。

高齢化であれば、実際に市の担当課から話を聞くこともよいが、例えば、諏訪区内で運転免許がなく実際に移動が大変な高齢者がどのくらいいるのかといったアンケートを取ってもよいと思う。リアルな数字が知りたい。何となく漠然と、「きつこうだろう」といった話し合いをしていますが、具体的に何をしたらよいのかということが見えてこない気がする。三和区のように循環バスやコミュニティ交通の充実をお願いする、移動方法を考えるということは、今後、本当に大事になってくると思う。他人事ではない家庭も多い。それが実際に動き出した際に、何人の参加があるのかといったことの声が聞きたい。実際に開始したら「毎日5人しか利用しませんでした」では、現在運行している路線バスと同様に、「やっぱりいらぬ」ということになってしまうように思う。その見極めを自分たちがどのように行えるか、資料1を見ながら気になった。「当事者ニーズ」をどのように拾い上げていけるのか。プロの人や市の話を聞きながら勉強をしていくことが地域協議会委員の役目だとして、求めている人の声を実際に拾う方法が他の区ではあるのか聞きたい。

次に、特長の「(1) 自然環境」に記載の、二貫寺の森を利用できる方法を考えてはどうかといったことは、ビジョンが作りやすい。移住促進や少子化防止にも繋がるきっかけになれるように思う。だが、そもそも市民というか、市のものというか、いろいろな決まりがある森だと思う。誰でも簡単に使える環境ではないといったところの説明を、まずは聞きたい。諏訪区の住民が何かするにしても、多分できることは限られているように思う。二貫寺の森でジョギングや散策できることをイメージするとすごく素敵なのだが、現実問題として、単純に自分たちが頑張ることができるものなのか、国・

県等の大きな組織との話し合いが必要なのかといったことが知りたい。

話し合っただけでテーマを決める前に、山田副会長の発言にもあったように、もう少し情報を集める必要があるように思う。資料1に記載されているテーマは絶対にすべて必要だと思うため、教えていただく機会を作りながら、その中からできることを探す・歩み寄ることができていけばよいと思った。資料1には、いろいろと調べた結果が記載されており、多くの団体があるのだと思った。これらを参考にしつつ、自分たちが知りたいことも、もう少し具体的にしていく必要があると率直に思った。

**【川上会長】**

まだまだ自分たちが知らないこともたくさんあり、本当にこれでよいのかも分からないため、もう少し情報収集したほうがよいとの意見であった。テーマが多過ぎるため、絞り込むには時間がかかるかと思う。そのためにも、もう少しいろいろな人から意見を聞いて情報収集してから、テーマを決めてはどうかとの意見であった。

他に意見等あるか。

**【星野委員】**

山岸 愛委員の意見と似ているのだが、結局は何かテーマを決め、市と対話をして、できる否かを決めなければならないと思う。その際、説得力を持たせるために、やはり数値が必要ではないかと思う。「これをやるためには何人ぐらいがいて、どの程度の効果がある」といった説明を行うための数値的なものが必要だと思う。何をしてよいのかはまだ想像がつかないが、数値的なものも含めて、まずは情報収集を行ったほうがよいと思う。

**【川上会長】**

星野委員からも、もう少し情報収集をしてからテーマを決めたほうがよいとの意見が出た。

他に意見等あるか。

**【堀川委員】**

テーマを決めると言っているが、先ほど川上会長より「テーマが多過ぎる」との発言があった。どういった点が多いのか、幾つぐらいのテーマに絞るのかといったことを教えてほしい。

**【川上会長】**

テーマが多過ぎるという点について、資料 1 には前回の情報交換会で出た意見がすべて記載されている。これをすべてテーマとして審議することは時間的に無理であるため、審議するテーマを絞り込んだほうがよいと思っている。特に諏訪区で必要な事項を絞り込んだほうがよいと思った。

**【堀川委員】**

絞り込むことについては理解したのだが、区分で「(1) 高齢化」「(2) 少子化」「(3) 人口減少」というふうに記載されている。その中からテーマを絞っていくのか、それとも区分の中で 1 つずつテーマを出していくのか、どちらなのか。

**【川上会長】**

それは審議の中で決めていくものだと思っている。自分が決めるわけではない。

**【堀川委員】**

全体の中でテーマを絞り、決めていくということでしょうか。

**【川上会長】**

記載されているすべてをテーマにしてもよいわけだが、これだけのテーマを審議するには時間的な制約がある。その辺もどうしたらよいのか意見してほしい。

**【藤井係長】**

多くの項目が挙がっているため、すべてを同時に進めることは現実的には難しいと思っている。情報を集めていく中で、地域協議会で進めていくのは難しいという案件もあるかもしれない。また、地域協議会ではなく他の団体に行ってもらふべきとの結論になるかもしれない。

今ほど「まだテーマを決めることが難しい」といった意見が多くあったため、例えば、市の担当課や地域の関係団体に話を聞いてみることもよいと思う。

ニーズの部分の話で、条件に当てはまる高齢者が地域にどのくらいおられるかについては、各町内会長に話を聞かなければ分からないと思う。テーマを決める前に、まずはもう少し状況を調べていきたいと考えた場合、それがどの項目なのかを確認し、それについて調べることから始めていければと思っている。例えば、何かを調べてみて、これは地域協議会で取り扱っていくのは難しいと考えた場合には、また違うテーマを検討してもよいと思っている。「テーマを絞る」といっても捨てるのではなく、まずはこのテーマから調べるというところを決めただけであればと思っている。あ



るいは、テーマを決めなくとも、まずはどの項目の情報を調べたいかという意見でもよい。

**【川上会長】**

今ほどの説明にもあったように、ここですぐに決めるというわけではない。テーマによっては、いろいろなところからもっと話を聞いて掘り下げてからテーマを決めることもできる。本日この場で決めなくともよい。どの項目について、どういったところから説明を聞いたらいいのかといった意見があれば発言願う。

**【星野委員】**

資料に記載されている項目の中で、二貫寺の森をどこまで整備してよいのかといったことが分からない。手順4に記載されている市の農林水産整備課から情報を得ることはできないか。1番最初の項目として、二貫寺の森については、情報を早く得られるように思う。他の項目については、地域的な事情がある。二貫寺の森であれば、市の担当課より話を聞くことができるため、1番情報を得やすいように思う。

**【藤井係長】**

今ほど二貫寺の森の話が出たため、地域協議会の承諾が得られれば農林水産整備課に確認してみたいと思う。どんな目的で・どんなことを聞きたいのかといったところを整理し、それを農林水産整備に話してみたいと思う。まだテーマを決める前であるため確定するものではないが、目的として、どのような方向を考えていて、何を聞きたいのかといった意見をいただければと思う。

**【川上会長】**

それも可能だと思う。手順4には、どういった団体から意見を聞けばよいのかが記載されている。すべての団体を集めて話を聞くこともできないわけではないが難しいと思う。それも含めて、どうしたらよいのか意見を求めたい。諏訪区内にはたくさんの団体があり、それらの団体より意見を聞いて話を進めることもできる。特に大きな団体としては、「諏訪の里づくり協議会」がある。その他、「未楽来すわ」「くびき野諏訪ホームページ運営委員会」「歌声クラブひまわり」「移住促進諏訪の会」等がある。そういった団体から話を聞いてテーマ決めていく方法もあると思う。

**【山岸 愛委員】**

星野委員の発言を聞きながら思ったのだが、「自然環境」のはさ木や二貫寺の森のよ

うな、諏訪の魅力というか環境整備については、町内会長からニーズを1つずつ聞くということではなく、自分たちが望む諏訪のかたちや「こうだったらよい」ということについて、行政や関係団体と意見交換しながら、「例えばこういうことができますか」というように、私たちと相手方とで進めていければ、具体的に動きやすいのではないかと。

このコロナ禍で、なかなかあちらこちらの人と話すのが難しい中で、私たちが私たちにできることとしたら、二貫寺の森が取っ掛かりやすいのではないかと気がした。農林水産整備課に話を聞き、二貫寺の森とはどういうもので、どういう意図があって、どういうふうに関心しているのかというようなことを踏まえて、じゃあ何ができるかを話し合うということではできそうだと思う。

高齢化の影響については、本当に私も分からないが、町内会長と協力してアンケートを取っていくとか、市に諏訪区の住民の年齢の割合を出してもらったりして、70歳以上の方がどれくらいいるかということなどを少しずつ調査していけばいいのではないかと。

人口減少については、前回の自主的審議で「移住促進諏訪の会」が立ち上がっていて、団体としていろいろ考えて動ける。私たち地域協議会が同じことをしたらその会を作った意味がないので、何か私たちの中で、移住促進、人口減少に関して思うことがあれば、その移住促進諏訪の会に委ねていくことはできると思う。そのため、今これを私たちが第一のテーマにする必要性はないのではないかと考えた。ただ、少子化の方をもっと頑張った方がいいという意見があれば、もちろんそれもやっていけばいいと思う。

先ほどの話で、高齢化も自然環境も少子化もやりましょうでは、限られた人数で月1回のペースで進めていたら4年間があつという間に終わってしまうので、二貫寺の森だったり、はさ木だったり、諏訪の環境整備みたいなことを考えつつ、ゆくゆくは高齢化対策に向けて町内会長や市と協議し、できることを進めていったら、かたちになっていくのではないかと。

#### 【川上会長】

自然環境について、市から話を聞いて進めてはどうかとの意見であった。高齢化・少子化・人口減少は、ざっくりとした話ではあるのだが、ある程度一体化されるよう

な感じがする。これらと自然環境とは完全に別問題な感じもする。1 番取りかかりやすいというか、検討しやすいものが自然環境ではないかということである。それについて市から話を聞いてはどうかとのことである。高齢化・少子化・人口減少については、諏訪区のみではなく全国的に大きな問題である。その対策として「移住促進諏訪の会」等があるため、移住促進諏訪の会から話を聞いて進めていく方法もあると思う。

他の意見等あるか。

**【堀川委員】**

先に、絞り込み作業を行ったほうがよいのではないかと。

例えば、区分ごとに「(1) 高齢化」には、「高齢者の移動手段」と「高齢者の安全確認」との 2 項目がある。また、「(2) 少子化」については、5 項目が挙げられている。細かく分かれてはいるのだが、区分ごとにミニテーマのようなものを設けて、絞り込んだほうがよいのではないかと考えている。

**【川上会長】**

堀川委員より、絞り込んでテーマを決めてはどうかとの意見であった。

**【堀川委員】**

まずテーマを決めるのではなく、区分ごとにまずは記載されている意見を改めて考えていくのかということである。

**【川上会長】**

他に意見等あるか。

(発言なし)

本日すぐにテーマを決めるということは難しいかもしれないが、よく審議して進めていければと思う。

今ほどの堀川委員の意見のように、順番に項目ずつに掘り下げていくとの話もあるが、どうか。

**【堀川委員】**

例えば「(2) 少子化の進展に関すること」のテーマが 5 つある。その中でどれがよいかを決めていけばよいのではないかとということである。

**【川上会長】**

課題の「(1) 高齢化の進展に関すること」が 3 項目、「(2) 少子化の進展に関すること」

が5項目、「(3) 人口減少に関すること」が3項目、「(4) その他」が3項目、そのあとの特徴の「(1) 自然環境」が2項目、「(2) 生活環境」が5項目、「(3) その他」が1項目あり、これだけの項目あるわけだが、これらを順番に審議していったほうがよいということか。

**【堀川委員】**

せっかくこれだけの課題があるため、それをいきなり「これがよい」というところから始めるのではなく、絞り込み作業を行い、ある程度の小さなテーマが出た後に、その中からどれがよいのかというふうに、どんどん絞っていくということである。

**【川上会長】**

理解した。

まず、課題の「(1) 高齢化の進展に関すること」の3項目から絞り、次に「(2) 少子化の進展に関すること」の5項目から絞るということである。課題と特長を併せて、全部で7区分ある。時間はかかるが、これを順番に絞り込んでいき、そこからまた絞り込んでいってはどうかという意見があった。

**【山岸 愛委員】**

堀川委員の意見は理解でき、そのような進め方をすれば具体的に見えてくると思う。

だが、「(1) 高齢化の進展に関すること」の3項目は最終的には1つになるように思う。テーマを分かりやすいように細かく分けてはあるのだが、要は高齢化の問題である。それを今、あえて「この中のこれ」と決めてしまうと、例えば、「高齢化」の「公共交通の便が悪い」をテーマにするとした場合、「見守り」等については行わないということか。

**【堀川委員】**

それは先ほどの事務局の説明にもあったように、選ばれなかったテーマが捨てるテーマということではない。

**【山岸 愛委員】**

少しずつやっていくということか。そして、1つやってダメだった場合には次ということか。それであれば、一緒なように思う。ここで1つに決めたとしても、また元に戻ると思う。そういうことではないのか。

**【堀川委員】**

これは個人的な意見であるため、他の委員からも意見を求めてほしい。

**【川上会長】**

事務局より補足願う。

**【藤井係長】**

今ほどの堀川委員の意見は、例えば「(1) 高齢化の進展に関すること」の何かを選ぶ・捨てるということよりも、話を掘り下げていく・情報を集めていく切り口として、焦点を当てるところを最初に決めると進めやすいのではないかとの提案なのかと思った。

例えば、まずは「(1) 高齢化の進展に関すること」として、「どのような交通手段が考えられるのかを調べる」ということをこの場で確認いただければ、正副会長と相談したうえで、その方向の情報が得られるような段取りを考えていきたいと思っている。まずは、どこを調べてみるのかということについての的を絞っていく。そのような進め方はどうかとの提案である。農林水産整備課や交通政策課に説明を求めるにしても、どういうところを聞きたいといったポイントを明らかにしなければ、担当課も答えづらいように思う。まずはここを聞いてみたいといったことを挙げてもらえればと思っている。

**【川上会長】**

テーマが多いため、なかなか集約しづらいところもある。

堀川委員の意見のように、「(1) 高齢化の進展に関すること」「(2) 少子化の進展に関すること」と順番に進めていったほうがよいのかもしれないのだが、それでは時間がかかり過ぎてしまう。区分の「(1) 高齢化の進展に関すること」の3項目を一緒にして考えていったほうが早いような気がしないでもない。「(2) 少子化の進展に関すること」も5項目ある。これも1つにして考えて情報収集する・いろいろな話を聞くとの考えもある。

意見を求める。

**【山田 勝也委員】**

今までにいろいろな意見が出て、先ほど山岸 愛委員も発言していたが、現状はどうか。コミュニティ交通を始めたのはよいが誰も乗らない、乗っても1日1人では困ってしまう。そのため、まずは現状を確認し、中長期的に考えたほうがよいと思う。まずは絞るのではなく、優先順位をつけ、それから行っていったほうがやりやすいよ

うに思った。二貫寺の森についても、農林水産整備課から説明を受けることもよいと思うのだが、自分たちは何を知っているのか、どこまで手をつけることができるのか、何もわからない。現状をもう少し調べたほうがよいと思う。

**【星野委員】**

二貫寺の森については、ある程度短期間でまとめることができる可能性があると思う。他の項目については、長いスパンを考えなければ行うことができない問題だと思う。まず二貫寺の森は、自分たちがどのようにしたいというよりも、市の規則のようなもので「ここは構ってはだめ」「なぜ構ってはいけないのか」といったことを全く知らないわけである。そういった情報を得なければ、自分たちが何を・どのように行っていけるのかを考えることができないように思う。なぜ構ってはいけないのか、なぜだめなのかを自分は知らない。二貫寺の森を構っていけない理由を知らなければ、自分たちが担当課に「こうしたい」といった要望を出すことができない。

**【山田 勝也委員】**

自分も、そのために先に知っておいたほうがよいと思って発言した。

**【川上会長】**

それこそ市に聞いてみなければならないと思う。上真砂町内会で草刈等を行っているが、その程度しか分からない。何をやってよい・何をやってはいけないということは自分たちも分からない。そのため、それを市から説明を受ければよいということだと思う。もう少し情報を収集して課題を決めていくこととしてはどうか。先ほど堀川委員より意見があったように、上から順番にもう少し話し合い、そこから課題を決めていくとの方法もあるかと思う。記載されている全てを行うことは大変だと思うため、やはり、ある程度は絞り込んだほうが現実的だと思う。

これらについて意見を求める。

**【堀川委員】**

情報収集をするにしても、どの項目について情報を収集するのも決めなくてはいいないように思う。

**【川上会長】**

今ほどの堀川委員の意見は、結局、テーマを決めるということになってしまおうと思うのだが、絞り込むということではいいか。

**【堀川委員】**

情報収集をするにしても、どれについて情報を集めてくるのかを聞いている。

**【川上会長】**

先ほどの発言では、「高齢化」「少子化」等、全てというふうに受けとめたのだが、そうではなく、ここでどの区分をテーマにするかを決めるということによいか。

**【堀川委員】**

情報収集をするにしても、テーマを決めるにしても、やはり「どれについて」ということを決めなくてはいけないのではないかと考えている。

**【藤井係長】**

議論の流れとして、本日の会議で、諏訪区地域協議会で自主的に審議するテーマは決めないということは全体の認識だと思う。それを踏まえて、情報収集をしていくことになると思うが、これだけの項目数があるため、まずは何を聞くか選ぶことになる。

今ほどの堀川委員の発言については、まずは何について説明を聞きたいのかを決めなければ、次のステップに進めないというふうに理解した。そして、聞き方についてであるが、ある程度小さめの範囲で聞き始めていかなければ、論点・焦点がはっきりしないように思う。「(1) 高齢化の進展に関すること」でも、今回はこれ、次回はこれと順番に聞いていくこともできる。まずはどのテーマで何を聞きたいかご意見をいただきたい。まずは気になるところから始めてもよいかと思っている。

**【川上会長】**

いろいろな意見が出され、やはり情報収集が必要だということであったと思う。その中でも、二貫寺の森をどのように使えばよいのかについて、農林水産整備課に話を聞いてみることから始めてはどうか。テーマを決めるためには、もう少し時間をかけ、いろいろなところから話を聞いて進めていきたいと思っている。今のところでは、二貫寺の森についての意見が多かったように思う。そこから順番に進めていってはどうか。

(よしの声)

それでは、そういったかたちで進めていきたいと思う。テーマを決めるには多少時間がかかるかもしれない。事務局に問う。そのような進め方でよいか。

**【藤井係長】**

確認である。今ほど市の担当課である農林水産整備課に、二貫寺の森についての説明を聞きたいということで確認いただいた。その目的としては、手順 2 に記載されているように、諏訪区の特長として、二貫寺の森を豊かな自然環境の一部として認識しているが、十分な整備がなされておらず、何か有効に活用する方法がないか検討したい。その前段として、検討の前提となる規則や条例、あるいは市でどのような方向性を考えているかを聞きたいということでよいか。

**【川上会長】**

今ほどの事務局の説明のようなかたちでよいか。まず、何も分からないため、いろいろと話を聞くことが必要かと思う。

(よしの声)

以上で次第 2 議題「(1) 協議事項」の「① 自主的審議について」の「2) 今後の進め方について」を終了する。

次に次第 2 議題「(2) その他」である。本日の議題に関して、何か意見等のある委員の発言を求める。

(発言なし)

次に次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

**【藤井係長】**

「次回の開催日の確認」の前に、資料 2「令和 3 年度 地域活動支援事業事前説明会実施計画（案）」について説明を行う。

・資料 2 に基づき説明

前期の諏訪区地域協議会では、事前説明会は会長・副会長のみが出席していた。区によっては、委員全員が出席する区もある。今年度は委員の改選があったため、全員が出席してもよいと思うが、正副会長に一任することも可能である。

**【川上会長】**

全員参加にて事前説明会を実施してはどうか。

**【西嶋委員】**

公民館集会室の収容人数についてである。現在、新型コロナウイルスの影響により人数制限を行っている状況であるため、集会室の収容人数としては 20 人程度で予約を受けている。その辺も考慮いただきたい。



**【川上会長】**

出席が予想される団体数としては、新規団体は別として、9 団体前後だと思っている。それにプラスして、委員全員が出席した場合、単純計算で 21 人となる。さらに事務局も含めるため、収容人数を多少オーバーすることになってしまう。人数的にはぎりぎりかと思うがどう思うか。

**【山岸 愛委員】**

新規委員ではない委員は、出席したからといって新しい発見があるわけではないと思う。質問等が出た際には、後日、議事録等で確認することもできる。そのため収容人数のことも考えて、参加できる委員はもちろん参加としても、人数的に多いようであれば、前期も委員であった数名は積極的には参加しないとの選択もあると思う。そのため、新規委員や説明を聞きたいと思う委員を優先して、人数を調整したほうがよいと思う。

**【川上会長】**

当日の参加人数にもよるが、会長である自分は別として、3 人の委員が委員経験者である。新規委員はぜひ参加してほしいと思うが、それも個人の判断である。正副会長と新規委員が優先的に参加し、あとは参加人数を見て希望があれば参加するとしてはどうか。

新規委員は間もなく 1 年が経過する。新規委員は事前説明会に参加したいと思うか。

**【山田 勝也委員】**

自分は都合が合えば参加したいと思う。

**【山岸 真也委員】**

自分も参加する。

**【堀川委員】**

参加したいと思っているが、前期からの委員は参加しなくてもよいというのは、どうということなのか説明してほしい。

**【川上会長】**

新型コロナウイルスの影響により、会場の収容人数に制限がある。そして、委員経験者は前期 4 年間の経験により事前説明会の内容等を理解している。そのため改めて聞かなくとも、ある程度は分かるため、書面を見て理解ができると思っている。

**【藤井係長】**

事前説明会については、事業の提案団体がどのように提案したらよいのかを理解していただく場であり、内容は、地域活動支援事業に関する説明のみである。正副会長以外の委員には、発言する機会がないと思われるため、昨年度も正副会長のみの出席とした。

**【星野委員】**

自分も参加したいと思う。

**【服部委員】**

出席する。

**【川室委員】**

出席する。

**【川上 俊一委員】**

自分も出席する。

**【川上会長】**

では新規委員はほぼ全員参加にて、事前説明会を実施したいと思う。参加人数によって、他の委員もぜひ出席して欲しいと思う。そのようなかたちとしてよいか。

(よしの声)

－ 日程調整 －

- ・地域活動支援事業 事前説明会：令和3年2月25日（木）午後7時から  
改めて「(1) 次回開催日の確認」について、事務局より説明を求める。

**【藤井係長】**

- ・次回の協議会について説明

**【川上会長】**

－ 日程調整 －

- ・次回の協議会：令和3年1月28日（木）午後7時から 諏訪地区公民館 集会室

**【川上会長】**

その他、発言等あるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mailchubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。